【小施策評価(平成29年度実績評価)】

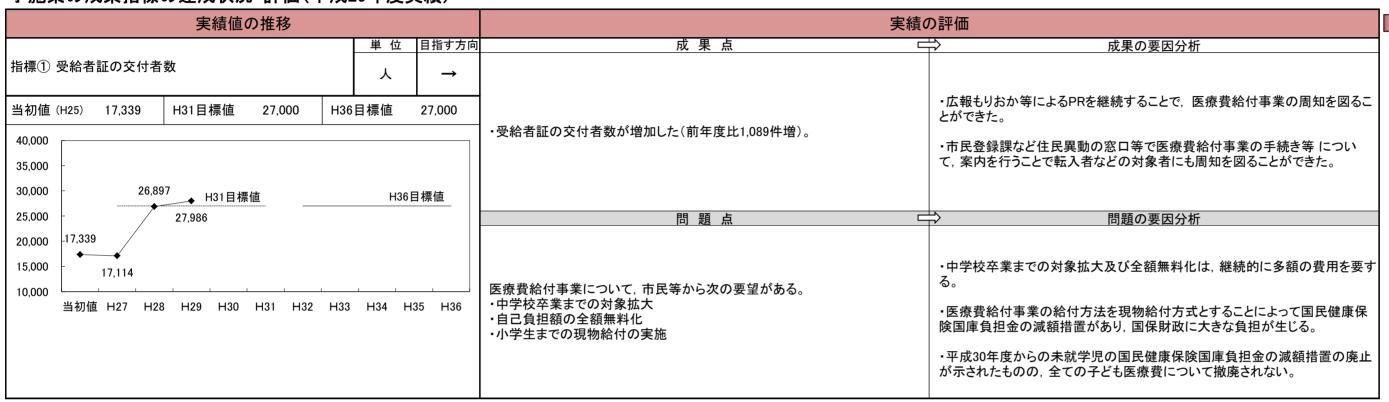
小施策の総合計画における位置付け

小施策の概要

小心束の松口引曲における吐直的け						
基本 目標	1	人がいきいきと暮らすまちづくり	小施策 主管課等	医療助成年金課		
施策	2	子ども・子育て、若者への支援	評価 責任者	猿舘 直美	内線 2230	
小施策	2-3	支援体制の充実	評価 シート 作成者	久保 雅子	内線 2231	

	現状と課題(総合計画実施計画から転記) □	L 取組の方向性(総合計画実施計画から転記)				
	子育て家庭における子育て費用の経済的負担の軽減が求められている。	保健, 福祉など, 各分野が互いに連携を強め, 各種制度・事業の周知に力を入れるなど, 多様化する問題に迅速に対応できる総合的な子育て支援体制を確立する。				
$\frac{1}{2}$	対象(誰(何)を対象として行うのか)	L>				
	育児中の保護者	子育てを楽しいと感じることができる。安心して子育てできる。				

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)



今後の方向性(平成30年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性 ★…30年度着手済または着手予定 ☆…31年度以降の着手を検討

- ★ 市の戦略プロジェクト(子育て応援プロジェクト)の取り組みとして、また、他市町村の動向も踏まえ、平成30年4月から中学生医療費助成事業を開始する。
- ★ 国民健康保険療養費等国庫負担金の減額措置の廃止について国に働きかける。
- ☆1 まずは、未就学児の全額無料化について、年間医療費の試算などを行い、確実に実施できるか検討する。
- ☆2 小学生までの現物給付化を要請する。医療費給付事業の給付方式は県 及び県内市町村が統一して行っていることから、県内市町村と連携を図り県 に現物給付方式の導入を要請していく。